

刊夕 日八月九



定価 一月五拾銭 郵費五拾銭  
廣告五拾七字 第一行五拾銭  
日曜祭日の翌日休刊  
発行所 常報日新新聞社  
印刷所 常報日新新聞社

### 感謝の氣持

KK生 (二)

我れを愛し、かくの如くにして平和にして圓滿なる社會の建設されんことは人間世界の理想でなければならぬ。

◇……………◇  
明日の献立  
◇……………◇

【朝】清汁——とろろ昆布  
小付 ぶどう豆

【晝】煮付——ずあき ます  
【晚】ビーステーキ

人心は我が心の鏡といふのは理りで、此方が感謝の氣持で他人に接する時に、相手も此方を敬視してかゝることは先ずない。むしろ我れを愛し我れに親しみを有つて呉れる。人が我れに愛を以て接して呉れるに於て、我れは更らに一層の感謝を覚えなければならぬ。此世に生れて、親に愛せられ兄弟から愛せられ、妻から、そして子供達から、更らに友人から同僚から愛せらるゝ程氣持のよく且つ仕合せな事はない。そして其の愛は他人のみ求むべきでなく、我れ他人を愛せずし

### ノット

「しやくくり」は多く消化不良から起るのですがこれを止める一番簡單で効果のあるのは「鹽を一つかみ舌の奥へのせる」とですそれをゴクリと呑みこんだ拍子に止ります

て他人にのみ我れを愛せんことを求むべきものではない。むしろ自ら先ず他人を愛することによつて、自ら我れに、反射し來るのである。我れ人を愛し、人亦た



詩

處が、我れ人を愛し、人に對し好意を寄せ、其人の爲めに盡力したるにも拘らず、其人一向に之を感じず、却つて故意か無意にか仇を以て之に酬ゆることがある。一時其の場では之を感謝しつつも、間もなく之を忘却して、所謂、忘恩行爲に出ることもある。かかる事は私としては屢々経験して居る。けれども其も畢竟は此方の愛の末だ徹底して居らなかつたのだとして我が徳の足らざる所なるが爲めだと思へば、別段、腹も立たず、却つて自らを鞭撻するの材料ともなり此の忘恩者に對して厚く感謝する事も出来る。

### 山の朝

木村野風

霜柱を履んで  
山の小道を  
獨り黙して行く  
物思に耽りながら……  
松風のそよぎも  
冷たい朝に  
右へ曲つて左へ行くと  
襟林の中から  
細く 仄かに  
白いものが見えた……  
炭焼く竈の煙かしら  
谷間にたゆたふ  
淡紫の色は……  
乙女の日の  
清い追憶をのせた  
夢のけむり……  
あの丘に この山に  
乳色の霧が漂ふ  
微かに甘い  
香を籠めて  
だがそれも  
いつか薄れる……  
蒼い……  
空の彼方の森へ——  
音もなく  
静かに……  
吸はれて行く……  
俳句

榎本月沙

枯葉水のみて犬行く背戸の月  
古舟にとんぼとまるや利根の秋

産科 院長 木村寅次郎  
婦人科  
外科 醫學博士 内木宗八  
藥局 藥劑師 玄番彌一  
平町新川町十九

入院隨意 病室完備  
木村病院  
電話六四番

### 是非!

御融通には御利用下さい  
萬事便利な御相談に應じます

三井質店  
平四・電六〇六番

### 酣はの秋!!

是非! 素晴らしく乗心地のよい  
セリザワのニューカーを御用命下さい。

平・三 芹澤タクシ  
電 395番

### 石炭

一俵十八袋ヨリ

多少に拘らず御用命下さい、直ちに配達致します。

平町十五丁目 電四六番  
エビスヤ燃料店

東洋火災保險株式會社平中央代理店

今年も例年通り……

かまぼこ製造

お任せ

相はじめました何卒御用命の程!

平町一丁目

お惣菜用 さつま揚 吉原揚  
平・三 藤寛  
電話一四一番

### 季節鳥料理

やな川  
うなぎ  
は  
魚榮へ  
平町 電話四二四  
配達迅速

### お醤油は ヤマフル

醤油味噌  
たひら正宗  
鯉節 食料品

鹽屋  
金山崎合名會社

福島縣平町電話營業部ニ醸造工場  
明治生命磐城代理店 山崎與三郎

# 魚市場が

## 更生する

### 本町魚問屋が

### 店頭賣りを廢す

### 來月一日から市場で取引

去る七年二月以降經營難の爲め休業した儘開かずの扉となつてゐた株式會社平魚市場は從來

**對立の關係にあつた**  
四丁目安戸屋松崎佐平外六氏との協定成り同氏の市場である四丁目の店頭賣りを廢止して來年一日から取引を開始することになつた魚市場ではこの

**賣上げ** 總額から鮮魚一分、鹽干魚三厘の賦課金

を徵收して經營を續ける管であるが平稅務署の査定による同町一ヶ年の魚取引は二十八萬圓に達するので市場側は一年に二千圓の収入

**確實**と豫想して居り貸金六千圓、舊債八千圓を整理して減資を斷行すべく着々準備を進めてゐる、尙四丁目の店頭賣り廢止によつて本町通りの喧騒と汚醜が撤退されるので一般から喜ばれてゐる

# 全町を行進

## 軍國意識を強調

### 滿洲事變記念日の催し

平町では滿洲事變の記念日が迫つたので適當な記念行事を催すべく來る十日午後一時から町役場會議室に郷軍分會長、國防研究會長、青年團長、消防組頭、婦人會長、女青團長及び平町公立學校長を招き協議することになつたが町當局の意嚮としては平町各學校生徒、郷軍會員並に青訓生による

大行進隊を組織平町内を歩武堂々行進して軍國意識を強調しやうと目論んで居る

**体協出場勧誘** 体協石城支部では本日縣体育協會より來る十六日(水上競技大會)及び二十三日(陸上競技大會)の兩日各福島市に於て縣下選手權大會を

催す旨の通知に接したので直ちに各關係學校に對し參加勸誘状を發したが資格は職業の如何を問はないと兩大會の種目左の如くである

△水上競技大會(自由型)  
百米 二百米 四百米 千五百米(背泳) 百米 二百米(平泳) 百米 二百米(繼走) 二百米 八百米 三百米メドレ△陸上競技大會(男子) 百米 二百米 四百米 八百米 千五百米 五千米 一萬米瑞典繼走 四百 千六百繼走

走高跳 走巾跳 三段跳 砲丸投 圓盤投 槍投 棒高跳 低障礙(女子) 百米 二百米 二百 四百 繼走 走巾跳 走高跳 三段跳 砲丸投 圓盤投

**縣道橋梁落札** 平土木監督所では昨七日上小川村地内縣道下田橋、上遠野、根岸道根岸橋の橋梁架替の工事を入札に附した結果下田橋は二千九百九十圓で平町前澤文太郎、根岸橋は二千五百圓で湯本町渡邊宗作兩氏に落札した

# 新田町の舗装

## けふ基礎工事

### 本月下旬に完成

昨日の町會で可決された新田町舗装は工費四百圓を以て愈よ今八日から工事に着手し先づ路面鎮壓の基礎工事を開始したが本月下旬までに完成の豫定である

十五、六名を加へ猛練習中であるが今月末チームを編成來月上旬磐中と一戦を交へる豫定である

# 平商野球

### 新チーム準備

平商野球部では早くも來年度の大會に備へベストメンパーを編成すべく目下新入

の取引状況は出荷三百三十三貫三百匁、高値一圓七十錢、低値一圓十錢、貫馴一圓五十七錢であつた

# 分團對抗野球の

## 組合せ決定

### 明九日第一回戦

既報明九日午前八時より平商及び平第三兩球場に於て

開催される平青年團主催各分團對抗軟式野球大會のキ

ヤブレン會議は昨夜午前八時よりマルトモホールで開かれ第一回戦の組合せを左の如く決定したが準決勝戦並に決勝戦は來る十五日午前八時より舉行する由

▲平商グラウンド  
研 町——紺屋町

# 各教員の研究發表

### 勅語拜戴と併せて教員總會

既報郡下小學校教員會の總會は明日午前十時より去る四月三日東京二重橋前に於て長くも聖上陛下より全國小學校教員に賜つた勅語の拜戴式と併せて古川縣視學臨席の下に平第一小學校講堂に於て開催、開會の辭國歌合唱、宮城遙拜、教育勅語奉讀、小學校教員に賜つた勅語奉讀、庶務會計の報告、役員選舉、協議、全國小學校教員代表者御親臨並に全國小學校教員精神作興大會及び全國聯合小學校教員會狀況報告等のプログラムに依り催されるが終つて會員の研究發表及び東京官學校長秋葉馬治氏の「哲學と教育」と題する講演等がある筈で研究發表者は左の如くである

水泳選手出發 既報明日水高主催の下に同校プールに於て開催される近縣中等學校水泳大會に出場すべく過般來猛練習を續けてゐた磐中水泳部選手一行は

一丁目——城山  
二十八區——二丁目  
新川町 不戦一勝  
▲第三グラウンド  
三丁目——十六區  
五丁目——南町  
長橋町——材木町  
胡摩澤 不戦一勝

愈々明朝必勝を期し山路、谷澤兩教諭引率の下に平發五時半で出發する事になつた

**平町人事**  
回出 生  
△古鍛冶町一八 齊藤茂次  
氏二女千代子さん(二ツ)  
△南町七一 笹間八郎さん  
三男忠康さん  
回死 亡  
△彌宣町六八 橋本ハナさん(二ツ)  
△古鍛冶一八 齋藤千代子さん(一ツ)

# 貸切り

## 専門優良車

乗心地の超特快適な三四年型  
デラックスセダン着

何卒御用命願ひます  
鈴木自動車部  
平田【電二一七番】

# 電話 79 番

## 貸切の御用命は!!!

### 平タクシーへ

平三丁目警察署通り  
是非 迅速—親切—御客様本位の……  
▲長距離は等々御相談に應じます。

# 亭主の新陳代謝

## 實に十二回

### 酒十七本を平げた莫連女

#### 情痴の場面に血塗れ事件

湯本町大字三國日雇業三塚時之助(三)妻あさ(五)は去る二日無断家出したので時之助が血眼になつて捜索中七日午後二時頃同町料理店叶家こと金成せん方で昔馴染の宮城縣角田町生れ自稱無産黨員詐欺窃盗殺人未遂前科三犯太田木(四)といふ豪の者とさし向

ひで酒十七本、ビール三本を仲にさしつさつれつして居た處を發見鐵の棒で太田を殴り頭部に全治

二週間の 傷害を負せ目下平署で取調中であるがあさは生來淫奔な女で亭主を代へること十三度而も時之助と夫婦になつて七十日目に此始末である

# 出水損害

## 廿四万圓か

### 隈田川炭礦の

#### 増水漸く止む

去る四日不慮の出水以來益々増水する一方であつた小田吉次氏經營の好間村隈田川炭坑元山坑は六日午後十時に至つて

して排水する外ないといはれこれには約一年を要するが四ヶ月で排水完成するとしても損害は二十四萬圓の巨額に達すると稱されてゐる

#### 運動會の役員

既報 來る十月五日全校兒童の秋季陸上運動會を催す事になつた平第一校の各係員は左の如くである

(會長)篠山校長(副會長)菅波首席(運動係)力丸訓

意排水作業に着手したがこの復舊は最も完備した條件の下に約二ヶ月の日子を要し大体前後四ヶ月は採炭不能の見込みであるが更に復舊至難の

場合は 新坑道を開鑿

# ドブ探し

## ダイヤ指輪發見

僅か一圓で賣却横領

内郷村大字宮字台溝浚業芳賀清太郎(三)は去月二十日平町南町平館前溝浚ひ中江名仲ノ作山下三次氏妻八重子さんが同月上旬紛失したダイヤ入り十八金留時價八十圓を拾得そのまゝ猫バ、僅か一圓で他に賣却したこと平署に發覺取調中

警備委員補充 缺員 中であつた平町警備委員の後任は昨日の町會に於て酒井清氏が推薦された

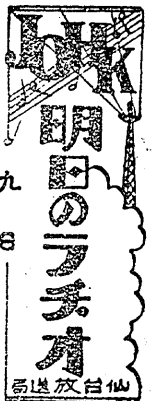
乃木祭の準備 警女及び平第二小學校では來る十三日乃木祭の催しものに就いて目下準備中

# 海産物荷主が

## 五泊六日の産業視察

### 一石二鳥の名案

磐城七濱の海産物は最近京濱地方にその販路を擴張して鐵道にトラックに出荷激増しつゝあるが平署では水戸運輸事務所と協力して管内の鮮魚、鹽干魚等の海産物荷主を動員して産業視察団体を組織し來る十八日より五泊六日の旅程を以て京濱、信州、中京方面の主要都市を訪問その都市の業者と懇談して圓滿なる商取引



今晩の部  
後八、〇〇 子供の時間  
お話「面白」遊び立花富子  
後六、二五 講演「滿洲よ」  
「歸りて」法學博士 林毅陸  
後七、三〇 漫談 御難綺  
談武田正憲

明日の部  
後八、〇〇 但詠 岩手縣  
遠野町菊地きみ外大勢  
後八、二〇 浪花節「桂小五郎と頼三樹三郎」京山若丸  
後九、〇〇 時事解説  
後九、三〇 時報ニュース  
氣象通報中番組豫告

薄情男に 慰藉料請求  
泉村大字瀧尻字上谷地七一佐藤アキ(三)さんは同村に萱手礦泉旅館に女中奉行中湯治客であつた同村田山政雄(三)君の胤を宿し女兒を分娩した其後一向に顧み

# 免囚保護のピラ

## 郡内隈なく撤布

平自管會では來る十三日の免囚保護デーに當りポスト一數千枚を郡内各所に掲示する一方自動車に分乗郡内隈なく宣傳ピラを布撒する豫定である

平職案紹介所報告  
△店員 三十才以下 尋卒  
△土工夫 三十九才 高卒

前九、一〇 榮養料理立  
榮養研究所  
前九、三〇 子供の時間  
對話劇「千代尼の徳ぶあつまり」石川縣石川郡松任町小學校兒童  
前一〇、〇〇 宗教講話  
「心外無別法」竹田頼川  
前一〇、四〇 趣味講演  
「三」藏法師の旅」文學博士 逸見梅榮  
前一一、一〇 講演「漢詩の四聲に就て」河合絹吉  
後一、一五 野球試合實況(東京六大學野球リーグ 戦神宮より中継)  
◎(女流演藝の午後)

(野球なき時放送)  
後三、〇〇 陸上競技實況  
日米對抗陸上競技(第二日)神宮競技場より中継  
後六、〇〇 子供の時間  
獨唱と齊唱  
後七、三〇 講演「臺灣の現状を語る」臺灣總督府總務長官 平塚廣義  
後七、四〇 臺灣音樂 臺北長春閣團員  
後八、〇〇 日曜特輯新作演藝 長唄新曲「みかさ」  
後八、二〇 講演「大岡政談二人半兵衛」伊藤慶潮  
後八、五五 ホールと管絃樂 新交響樂團練習所

△炊事婦 四十三才 尋三  
△土工夫 二十二才 高卒  
△女工 十七才 高卒  
△女中 三十九才 高一修  
△新聞配達 二十二才 高卒  
△土木建築 三十才 早稲田工手卒

# 裁判所たより

△既報平町鎌田町五居住仙臺市北目町生れボール箱製造業強盗前科一犯竹崎秀吉(三)が去月二十五日午前一時頃平新川町木村病院に忍び込み院内各所を物色中捕はれた事件は清田檢事より窃盜罪として起訴されたので近く平區裁判所で公判を開廷すると

一冊の代金で 御希望通りな  
五冊の雑誌が 自由に讀める  
川崎巡回文庫  
電話六三〇番  
(申込次第規則書進呈)

市原醫院  
平町 田町  
電話二一四番

